

## 「シニア・コミュニティー創生事業」・・・夢物語（その3）

篠崎 辰夫

バブル景気に沸いた 1980 年代後半に、「ふるさと創生事業」という政策が実施された。当時の竹下政権が推進した、地域振興を目的に市町村に一律 1 億円ずつを配るという思い切った政策で、全国にハコモノやモニュメントが次々と立ち上がった。

しかし、長い目で見て地域振興につながったケースは数えるほどで、キャバレーや金の像など無駄なことに使われて、“ばらまき行政”とも言われ、評判は決して良くなかった。

その反省を踏まえ、「シニア総活躍社会の実現」のために、あらたな政策が生まれた。題して「**シニア・コミュニティー創生事業**」。

シニアの健康と活躍のためには、外部との接触、コミュニティー活動が不可欠ということに着目し、シニアの皆さんにもっと外に出て、仲間とふれあい、コミュニティーの場を増やしてもらおう、というもの。これにより、高騰し続ける高齢者の医療費をなんとか押さえようという狙いもある。

その仕掛けの一つとして、シニアのグループ活動やイベント等のコミュニティー活動に助成金を交付し、活動を促進する制度が実施された。各グループ一回、一人 5 0 0 0 円が支給される。

この他に、すでに実施中の「**地方創生事業**」として“ふるさと割・ふるさと旅行券”というのがある。これは国が取り組む地域活性化で、交付金を使って宿泊施設を割引することで観光客の誘致を行い、地域活性や地方創生を促進するのが狙いの政策。（これ本当）この旅行券（宿泊券・クーポン）を利用すると、宿泊料金やツアー代金が最大半額の割引を受けることができる。

この「シニア・コミュニティー創生事業」と「地方創生事業」の両方の交付金をうまく使えば、グループの宿泊旅行などが、安く実施できるのだ。

---

早速、我がOB会も、この政策を利用したイベントを企画した。

### 「**菱の実会・菱花会 交流親睦旅行**」

1. 目的地：猪苗代温泉
2. 日程：調整中（一泊二日）
3. 宿泊先：ホテルリステル猪苗代（予定）
4. 募集人員：100名（バス2台）
5. 参加費： 10,000円

（シニア・コミュニティー創生事業の 5,000円と、地方創生事業の宿泊料金半額「ふるさと割り」を利用）



---

勝手な夢物語ですが、ダメでしょうか。まあダメでしょうねえ。また夢であいましょう。